

平成27年度

第2回総合教育会議 会議録

(開会 平成27年8月14日)

(閉会 平成27年8月14日)

岐阜県 可児市

平成27年 8月14日午後 2時00分開会
会場：市役所 5階第 2委員会室

出席者

富田成輝君（市長）
星野京子君（教育委員）
小野口裕子君（教育委員）

籠橋義朗君（教育長）
生駒隆昌君（教育委員）
丹羽千明君（教育委員）

説明のために出席した者

高木美和君（事務局長）
梅村高志君（学校教育課長）

渡辺達也君（教育総務課長）

出席事務局職員

梅田浩二君（教育総務課総務係長）

日程及び審議結果

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 可児市教育大綱について
 - (2) その他

開会の宣告

- 市長（富田成輝君） 平成27年度第2回総合教育会議の開催を宣告。

あいさつ

- 市長（富田成輝君） 世間ではお盆休みにも関わらず、お集まりいただき感謝する。本日は、議題にもあるように「教育大綱」について固めていきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

議題

- 市長（富田成輝君） 本日の議題は、「可児市教育大綱について」と「その他」の2点である。1つ目の議題、可児市教育大綱について、事務局よりこれまでの経緯等について説明願いたい。

- 教育委員会事務局長（高木美和君） 資料の1ページにあるように、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、地方公共団体の長に教育大綱の策定が義務付けられた。大綱については、あらかじめ総合教育会議での協議を経て定めることとなっているので、本日協議をお願いするものである。なお、本日までの経緯については、教育総務課長より説明する。

- 教育総務課長（渡辺達也君） 教育大綱は、教育行政における地域住民の意向をより一層反映させる観点から、選挙で選ばれた首長が策定するものとされているが、教育に関連する各種団体の意見も聴きたいという市長の意向により、本年4月から5月にかけて自治連絡協議会、教育委員会、民生児童委員連絡協議会、PTA連合会の会合等に市長が直接出向き意見聴取を行っている。資料2ページに、聴取した意見をカテゴリー別にまとめたものを記載しているが、これらの意見を踏まえて大綱（案）の策定に至っている。なお、本日晒したものと若干異なっているが、8月4日開催の小中学校校長会での「市長と語る会」においても、大綱（案）を示して意見聴取を行っている。

- 市長（富田成輝君） 市長になって5年目になるが、これまでも公式非公式を問わず、色々な機会でも市民から教育に対する意見や考えを聴いてきた。教育大綱を策定するという事で、さらに各種団体からも意見聴取を行ったが、目線が違うと言いかたに多少の違いはあるものの、基本的な考え方に大きな違いはないと感じた。

この大綱（案）は、皆さん方からの意見を踏まえつつ、行政（市）としてどういう子を育てようとしているのかという視点でまとめなおしたものである。全体としては、文章全ては覚えられなくても、皆が共通認識できるようなものとして欲しいという意見が多かったため、簡潔明瞭なものとした。

具体的には、「前文」部分は、マイナス10カ月からの子育てを推進していく中で、特に主要な役割を担う義務教育を中心に、切れ目のない教育を推進することを示した。また、「目指すべき方向」としては、日本一子どもに寄り添い個々の力を伸ばす義務教育を推進し、可児市のまちづくりに貢献できる人材を育成することとした。ただし、可児市へ

の貢献は、可児市に住んでいなくてもそれぞれの状況や立場から、色々な形の貢献が可能だと考えている。「5つの目標」については、1つ目が、人間として成長するために最も大切なことを「豊かな心」という形で集約、2つ目は、社会の中で人間が生きていくうえで必要な「ルールを守る意識」、3つ目が、各個人が大きく育てて欲しいという思いから「夢に向かってチャレンジできるたくましい心」、4つ目が、生まれ育った可児市への誇りや、地域を大切に、住み続けてもらいたいという思いから「ふるさとを愛し、社会に進んで貢献できる人」、5つ目は、これらを目指すための手段として、エデュース9の考え方でもある地域・家庭・行政（学校）など「地域全体で子どもを育てる意識」という形でまとめた。

本市の大綱は、全国的に見ても、最も簡潔にまとめたものではないかと考えている。なお、教育委員会や事務局の考えもあるが、大綱の考え方をできるだけ多くの方に知ってもらうため、子ども向けや、保護者（親）向け、地域のボランティア向けなどのバージョンがあっても良いのではないかと考える。皆さんからも自由な意見を頂戴したい。

- **教育委員（星野京子君）** 4月の第1回の総合教育会議で教育委員会の意見を聴いてもらい、その後に各種団体等からも意見聴取をされ、全体的にわかりやすく、いいものができたと思う。本日の案とは少し違うが、7月に見せていただいた原案に基づき教育委員会で検討を行ったので、その際に出された意見をお伝えしたい。

目指すべき方向の中の「日本一子どもに寄り添い」を「日本一子どもの心に寄り添い」にしてはどうか。「未来の可児市のまちづくりに貢献できる人材」という部分は、可児市にこだわらなくても、「自立」とか「社会に貢献できる人づくりの推進」等の表現にしてはどうか。また、目標の2にある「ルールを守る意識」については、目標1の「豊かな心」が育てば身に付くものであり、特段掲げる必要がないのではないかと感じる。

- **教育委員（生駒隆昌君）** 目標3は、「夢に向かってチャレンジできるたくましい力」という表現で、以前示していただいた案に比べ具体的でわかりやすくなった。目標5は、「エデュース9」という表現はされていないが、その考え方が継承されており、うれしく感じた。なお、市長の話聴いて、行政の視点から大綱をつくるという意味では、「可児市」という言葉が入るのも大事ではないかと感じた。また、市長の言われた色々な視点からの大綱があれば、厚みも増すように思う。

- **教育委員（小野口裕子君）** 「目指すべき方向」という部分は「目指す方向」でよいのではないかと感じる。また、同本文中の「 」内を「一人一人の子ども心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす義務教育」とした方がよいのではないかと感じる。同じく「未来の」は「将来、」とした方が、より市長の思いが伝わるのではないかと感じる。また、教育や子育ての目標は、「自立」だと考える。目標3に「自立力」というものが込められないかと感じる。合わせて、子どもたちには「自立力」、「社会力」、「共生力」の3つの力を育てて欲しいと考えている。目標5については、市長の話聞き、手段としてこの書き方でよいと感じた。先日、教育委員会で杉並区を訪問する機会があったが、コミュニティスクールなどで地域との関わりを強く感じた。地域力の向上を地域に強く訴えていく必要があると感じた。

- **教育委員（丹羽千明君）** 「前文」で義務教育に特化していることが明記され、わかりやすいと感じた。目標2の「ルール」については、漠然とした表現であり、子どもにはわかりにくいかもしれない。この目標だけ説明の文章も短いので、ルールの具体的なものを列記してもよいのではないか。目指すべき方向の「寄り添い」の後には、読点を付けてもよいと思う。また、小野口委員から、「共生」という言葉が出たが、可児市には外国籍の方も多いため、多文化共生という意味でも重要なことだと思う。
- **市長（富田成輝君）** 「ルール」については、当初私の考えにはなかったが、皆さんの意見を聴く中で、情報モラルや礼儀作法などの意見が多く寄せられたため、盛り込むこととした。まだ詰め切れていない部分があるが、単に「ルール」だけでは確かにわかりにくい面もあるので、具体的なものを列記するなどの表現を考えたい。なお、先ほどから出ている「共生力」は、まさにこの目標2に含まれるものと考えている。また、「社会力」は目標4、「自立力」は目標3に含まれていると考えている。これらを「〇〇力」という形で文章に盛り込むこともできないことはないが、無理に入れ込む必要もないと考えている。なお、豊かな心が育てばルールも守られるという意見もあったが、最近、若い人たちが残酷な事件を起こすことも耳にするので、ルールを守る意識は植えつけていく必要があると考えている。
- **教育長（籠橋義朗君）** 他人との関係の中で、ルールを守るということはぼやかさない方がいいと思う。豊かな心の一部ではあるが、あえて取り出して言うべきものだと思う。
- **市長（富田成輝君）** ルールを守ることと、豊かな心とは違うことだと思う。
- **教育委員（小野口裕子君）** 豊かな心は、自己表現力になると思う。
- **市長（富田成輝君）** 豊かな心があればルールを犯さないものではあるが、そんな簡単なものでもない。ルールを守るとは、非常に重要なことなので、広がりのある表現に見直しをしたい。加えて、共生という意味合いも表現できればと考えている。
概ね意見も出されたので、大綱についてまとめていきたいと思う。

以下のゴシック体表記部分は、会話形式を省略。最終的に合意した内容のみ記載。

- ① 目指すべき方向 → 目指す方向
 - ② 「日本一子どもに寄り添い個々の力を伸ばす義務教育」
→ 「日本一子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす義務教育」
 - ③ 「未来の可児市のまちづくりに貢献」 → 「可児市の未来に貢献」
 - ④ 目標2 → 具体的なルールを列記、「共生」の意味合いも含める
 - ⑤ 目標3 → 「自分の考え」を文章に盛り込む
- ※ 大綱についての基本的な協議は終了したため、上記修正を加えた文書を後日教育委員会に確認することで合意。

- **市長（富田成輝君）** 続いて2つ目の議題「その他」であるが、この会議を開く前に小中校長会の皆さんと話をすることがあり、いくつか要望をいただいた。また、PTA連合会からも要望書が先日出されたので、これらについて意見があればいただきたい。
まず、外国籍児童生徒の問題であるが、以前は、外国人との共生という、外国人をきちっと育てないと犯罪を犯すなど、日本人に迷惑がかかるという、どちらかと言うとそういった意味合いが強かったように思うが、現在は、法制度も変わり、永住権を取得しやすくなるとともに、日本人の少子化が進む中で、将来の貴重な戦力として捉えられるようになってきた。可児市の人口は、県全体の5%であるが、外国人だけで見れば県全体の10%、さらに外国籍の子どもは県全体の20%を占めている。それだけ、可児市が外国人の子育てがしやすい環境だと言うことができる。
- **教育委員（生駒隆昌君）** キャリア教育というか、外国籍の子どもにできることを教えていくことも必要だと思う。先日、ばら教室の子どもの発言を聴く機会があったが、すばらしいスピーチをしており、感動とともに可能性を感じることができた。そういう意味では、極論かもしれないが、外国人学校のような施設をつくっていくことも一つの方法だと考える。特に、今渡北小や蘇南中のように、外国籍の子どもになかなか手がかけられない学校もある。
- **市長（富田成輝君）** 現在、東濃高校で外国籍の生徒を受け入れているが、私は外国籍の子どもを特別に分ける必要はなく、混ぜるべきだと考えている。ちなみに、くれよんには外国籍の発達障がいの子どももたくさんいるが、美濃加茂市の同様の施設には、1人もいないと聞いている。
- **教育長（竜橋義朗君）** 外国籍でさらに発達障がいがあれば、対応は非常に大変である。ただし、それでも特別に分けることは好ましくないと思う。
- **教育委員（小野口裕子君）** ばら教室で対応が困難な場合、フレビアで対応しているが、ばら教室の職員を増員し、フレビアなどの施設を利用して指導を行ってもよいのではないか。なお、外国籍の子どもたちへの関わり方は、14～15年前と比べたら雲泥の差ほどよくなってきている。
- **市長（富田成輝君）** 駅前の子育て拠点施設が出来ると、総合会館の保健センターがそちらに移転する予定である。それに伴い、総合会館分室に入っている組織が総合会館に移転する予定であるため、ばら教室のような施設として活用することも考えられなくはないと思う。
- **教育委員（小野口裕子君）** 外国籍の子どもの進学率も上がってきているので、高校の受け入れ体制も合わせて考えていただきたい。外国人は天真爛漫で、日本人にはないものも持っている。さらに共生しやすい環境になっていくことを願う。

- **市長（富田成輝君）** 次に、ケータイ・スマホの問題であるが、愛知県や岐阜県関市などでは、夜間の使用を規制するなどの動きが出ている。可児市では、正しい使い方の指導を行っているが、将来的には、条例等で規制するなどの検討も必要になってくるかもしれない。
- **教育委員（生駒隆昌君）** スマホの使い方も、それぞれが独自で考えるようになり、何が危険かということが以前に比べだいぶわかってきたと思う。
- **教育委員（小野口裕子君）** だいぶわかってはきているが、定期的な指導、注意喚起は続ける必要があると思う。これは子どもに限ったことではなく、家庭も共通認識すべきである。
- **市長（富田成輝君）** 条例等で規制する方法もあると思うが、多くの子どもは常識を持って使用しており、今のところそこまでは必要ないと考えている。
- **教育委員（小野口裕子君）** 去年の生徒会サミットでも、子どもたちが自ら自制する宣言を行っている。
- **市長（富田成輝君）** 次に、キッズクラブについてであるが、今年はキッズボランティアに可児高の生徒が50人登録していると聞いている。
- **教育長（籠橋義朗君）** 登録している子の中には、自分自身がキッズクラブの経験者という子もいるようである。
- **市長（富田成輝君）** 南帷子小のキッズボランティアに、同校を卒業した中学1年生が申し込んできたという話も聞いている。その後どうなったかは不明だが、そういった気持ちは生かしてあげたいと思う。こういったことがエデュース9の本来の目的の1つであると思うし、色々な政策に関わってもらうことが行政を理解してもらうことにもつながると思う。市議会が行っているキャリア教育も同じだと考える。
 学校環境の整備に関しては、国の補助がつかず本当に厳しい。ご承知のとおり、本年度は小学校のエアコンにも国の補助がつかなかった。オリンピックなど、使うところには使っているが、ベーシックなところのお金が削られている。さらに、ゴルフ場利用税廃止の動きもある。この税収がなくなると、可児市では2億円の減収となる。また、道路予算等についても、同様に厳しい状況である。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 中学生の子どもたちは、エアコンが付いたことをすごく喜んでいる。
- **市長（富田成輝君）** 次に、通訳サポーター等について、何か意見はありますか。

- **教育委員（小野口裕子君）** 最近は、フィリピンの子どもの通訳もタガログ語だけでは対応困難になってきていると聞いている。
- **市長（富田成輝君）** フィリピン、インドなどは、多くの言語が使われている。
- **教育委員（小野口裕子君）** スクールソーシャルワーカーの配置も各中学校区に1名程度の配置にしていただけるとありがたい。ただし、人材の問題はあるが。
- **教育長（笹橋義朗君）** 教育委員会としても、質の問題もあり、人の選定には苦慮している。
- **市長（富田成輝君）** 質の問題は先生も同じで、人数を増やそうと思うとどうしても質が落ちてしまう傾向にある。
- **教育委員（星野京子君）** 発達障がいの子どもの増加傾向にあると聞くが。
- **市長（富田成輝君）** 小学校入学前のコミュニケーション能力は弱いと感じている。発達障がいに関しては、全国の比率から見れば、可児市は半分程度の割合だが、こういった統計に上がっていない子もいると思われる。くれよんも頑張ってくれているが、現在計画中の子育て拠点施設については、敷居を低くして、できるだけ来やすく、接触できる施設にしていきたい。
- **教育委員（丹羽千明君）** 先週、可児夏祭りでごみの係についていたが、小中学生は指導がなくてもごみをしっかり分別してくれた。どちらかというと、大人への指導の方が多く、時代が変わったと感じた。
- **市長（富田成輝君）** こういったいい話は、事務局から各学校に伝えて欲しい。夏祭りと言えば、最近、声をかければ子どもが盆踊りの輪に入ってくるようになった。
- **教育委員（丹羽千明君）** 最近、中学生位の子が元気になってきたと感じている。
- **市長（富田成輝君）** 若い子も盛り上がるような曲や踊りを考えてもらおうとよいと思うが。
- **教育委員（小野口裕子君）** 個人的には、よさこいは残念に思う。可児市音頭のよさにふるさとへの愛着心を生み出すようなものになるとよいと思う。
- **市長（富田成輝君）** 予定の時間となったが、事務局から連絡事項等はあるか。
- **教育委員会事務局長（高木美和君）** 教育大綱については、先ほど確認した内容で

文章を修正のうえ、メール等で送付させていただくので、ご承知おき願います。

- 市長（富田成輝君） 本日は、たくさんの意見をいただき感謝します。

閉会の宣告

- 市長（富田成輝君） 平成27年度第2回総合教育会議の閉会を宣告。

閉会 午後3時27分